

1 (1) 10 (2) 14 (3) 12 16

1ずつ ふえて います。 1ずつ へって います。 2ずつ ふえて います。

ずになにもかいていなくても、しき、
こたえがあていれればせいかいです。

2 (1) 【ず】 みぎの ほんだな 3 さつ

ひだりの ほんだな 8 さつ

しき 8 - 3 こたえ 5 さつ

(2) 【ず】 あかい クレヨン 3 ぼん

あおい クレヨン 6 ぼん

しき 6 - 3 こたえ 3 ぼん

3 ② ①のしきは、7-4+3になります。
③のしきは、7-4-3になります。

4 (れい)
こうえんに せの たかい 木が 5ほん、せの ひくい 木が 2ほん
あります。
木の かずは あわせて なんぼんですか。

れいの「木の かず」の ほかに、「こうえんで あそんで いる こどもの
かず」や「チューリップと タンポポの かず」などでも、もんだいを つくる
ことが できます。

〔算数〕 小2 組 番号 名前

1 (1) 水とう

1 L は 10 dL なので、
2 L は 20 dL になります。

① L

② d L

(2) ポット

③ L

④ mL

1 L は 1000 mL なので、
4 L は 4000 mL になります。

2 せつめい

(れい)
一のくらの計算は、 $9 + 6$ で 15 です。
しょうたさんは、十のくらの計算を
1 くり上げずに計算し、
 $5 + 2 = 7$
になっているのでまちがいです。

正しい答え

3

ながいはりが 1 めもりすすむ時間は 1 分です。
家を出た時こくは 7 時 30 分で、学校についた時
こくは 7 時 50 分なので、かかった時間は 20 分間
です。

4

もんだい

(れい)
おだんごが、1 本のくしに 4 こずつついています。5 本かう
と、ぜんぶでなんこになりますか。

何 (こ) のいくつ分かを考えて、
もんだいをつくりましょう。

5

(1)

(2)

【考え方】

$1 \square 4 < 138$

1 □ 4 の □ の中に 0 から 9 までの数字を入れて
138 と大きさをくらべてみましょう。

- ・ □ の中に 0 ⇒ 104 (138 より小さい)
- ・ □ の中に 1 ⇒ 114 (138 より小さい)
- ・ □ の中に 2 ⇒ 124 (138 より小さい)
- ・ □ の中に 3 ⇒ 134 (138 より小さい)
- ・ □ の中に 4 ⇒ 144 (138 より大きい)
- ・ □ の中に 5 ⇒ 154 (138 より大きい)
- ・ □ の中に 6 ⇒ 164 (138 より大きい)
- ・ □ の中に 7 ⇒ 174 (138 より大きい)
- ・ □ の中に 8 ⇒ 184 (138 より大きい)
- ・ □ の中に 9 ⇒ 194 (138 より大きい)

〔算数〕小3 組 番氏名

① (1)

1 5 4 7 0 4

(2)

4 9 0 0 0 0

(3)

2 5 0 0 0 3 0 0

空いている位に0を書くことを忘れないようにしましょう。

②

$$\begin{array}{r} 76 \\ \times 5 \\ \hline 30 \\ 350 \\ \hline 380 \end{array}$$

..... × 5

..... × 5

76は、70と6に分けて、
70×5と6×5の計算をします。

③ (1)

2 0 c m

(2)

5 c m

どこの長さを求めるのかを図を使って確認するようにします。

④ (1)

3 本

(2)

午前 1 0 時 2 5 分

午前 1 0 時 2 5 分

午前 1 0 時 4 0 分

バス停まで 1 5 分

(3)

午前 1 1 時 5 分、午前 1 1 時 2 0 分

時こく表を使って、次の①、②のことからバスに乗ることができるか考えます。

①バスていには11時に集合するので、乗るバスは、11時より後になります。

②博物館までバスで30分かかるので、11時30分より後のバスでは正午におくれてしまいます。

①、②のことから、間に合う時こくは午前11時5分、午前11時20分です。

〔算数〕小4 組 番 氏名

1 (1) 十の位

(2) 一の位

2 式 $500 - 70 \times 4$

答え 220円

(出したお金) - (えんぴつの代金) = (おつり)

【計算】

$$500 - 70 \times 4 = 500 - 280$$

$$\begin{array}{r} - 280 \\ \hline 220 \end{array}$$

① ②

3 (1) 63 m^2

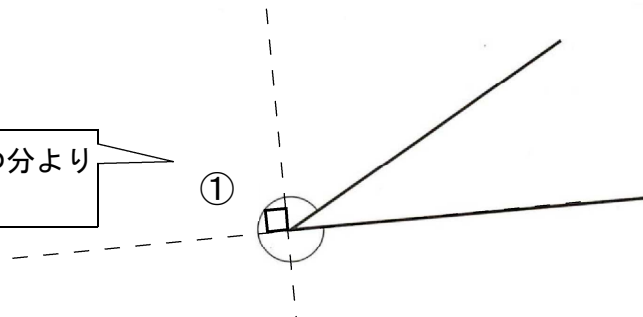
(長方形の面積) = (たて) × (横) で求めます。
式は 9×7 となります。

(2) 144 cm^2

(正方形の面積) = (一辺) × (一辺) で求めます。
式は 12×12 となります。

4 4

直角の3つ分よりも大きく、4つ分よりも小さいので、4となります。



5 (1) ① ア 2000 イ 2000 ウ 2000 エ 3000

② 9000

(2) (れい)
実さいの数より小さい数にして和が8000だから、集めたこ数の合計が8000こ以上であることがわかります。
だから、実さいに足りないこ数は2000こ以下です。つまり、3月に2000こ集めれば、目標の10000こになるからです。

「実さいの数よりも小さい数にして見積もっていること」、「集めたこ数の合計は8000こ以上であること」、「3月に集めるこ数は、2000こ以下であること」が書かれていれば、正かいとします。

〔算数〕小5 組 番 氏名

1 (1)

(2)

(3)

(4)

2

バスは9時6分、12分、18分、24分、30分、36分、42分、48分・・・に出発します。
 列車は9時8分、16分、24分、32分、40分、48分・・・に出発します。
 このように、同時に出発する時間24、48・・・は6と8の公倍数です。

3

4 (1)

(2)

それぞれのノートの1さつあたりの値段を計算すると、
 $320 \div 5 = 64$
 $260 \div 4 = 65$ なので、
 1さつあたりの値段が安いのは5さつで320円のノートです。

(3)

5 (例)
 4.58mをこえた部分の平均を求めます。
 $(0 + 0.1 + 0.04 + 0.06) \div 4 = 0.05$
 もとにした4.58mに、求めた平均の0.05mをたします。
 たかしさんが10歩歩いた長さの平均は、4.63mです。

① それぞれの記録と4.58mとの差を求め、
 平均を $(0 + 0.1 + 0.04 + 0.06) \div 4 = 0.05$ と求めること
 ② きじゅんとした4.58mに、求めた平均の0.05mをたすと、たかしさんが10歩歩いた長さの平均が、4.63mになること
 の2つのことがらが書かれていれば正解です。

〔算数〕小6 組 番 氏名

1 (1)

時速 264 km

(2)

分速 4.4 km

時速は「1時間あたりに進む道のり」、分速は「1分間あたりに進む道のり」を表したものです。
 (1)は $1320 \div 5$ 、(2)は $1320 \div 300$ または $264 \div 60$ で求めることができます。

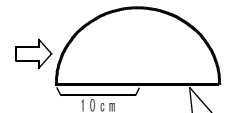
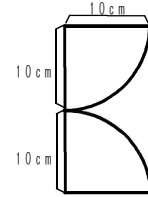
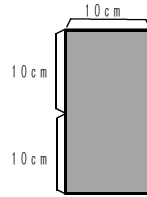
2 (1)

43 cm^2

【解き方】

$$20 \times 10 - 10 \times 10 \times 3.14 \div 2$$

色の付いた部分がどんな形からどんな形を引いてできたかを考えれば求めることができます。



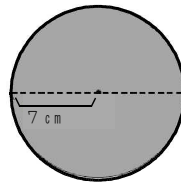
引く部分は半径10cmの半円になります。

(2)

125.6 cm^2

【解き方】

$$7 \times 7 \times 3.14 - 3 \times 3 \times 3.14$$



半径7cmの円から半径3cmの円を引きます。

3

比例するもの **ア**、**ウ**

反比例するもの **エ**

x の値が2倍、3倍、...になると、それともなって、 y の値が $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍、...になるとき、 y は x に反比例するといいます。

4

36 cm^3

(体積) = (底面積) × (高さ)で求めます。

5

拡大図 **イ**、**オ**

縮図 **キ**

拡大図、縮図では、対応する辺の長さの比は等しくなっています。

6

牛乳の量を求める式

$$1600 \times \frac{3}{8}$$

牛乳の量

600 mL

全体(ミルクティー)の比が8で、牛乳の比が3であることを使って牛乳の量を求めます。